

# Newsletter



日本教育情報学会  
JAPAN SOCIETY OF EDUCATIONAL INFORMATION

NO. 92 2001. 5. 20

〒158-8630 東京都世田谷区等々力6-39-15 (学)産業能率大学内 日本教育情報学会 運営本部事務局  
Tel:03-3704-9168 Fax:03-3704-9246 インターネットアドレス <http://wwwsoc.nacsis.ac.jp/jsei>

## 日本教育情報学会 第17回年会のご案内

先にお知らせしましたように、本年度の年会は11月に国立オリンピック記念青少年総合センターを会場に開催いたします。本日、大会の概要と研究発表の応募に関する内容をお知らせいたします。

下記の要項をご熟読の上、期限内に手続きくださいますようお願いいたします。多数のご参加とご発表をお待ちしております。

期 日 2001年11月10日(土)・11日(日)

会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター

所在地 〒151-0062 東京都渋谷区代々木神園町3番1号(TEL03-3467-7201)

交 通 小田急線 参宮前駅下車 徒歩7分

地下鉄千代田線 代々木公園駅下車 徒歩10分

事務局 日本教育情報学会 運営本部事務局内 日本教育情報学会第17回年会実行委員会

日 程

11月10日(土)		11月11日(日)	
9:30~12:00	課題研究・一般研究	9:30~10:50	一般研究・課題研究
12:00~13:00	昼食休憩	11:00~13:00	パネル討論 I
13:00~13:45	総 会・学会賞表彰式	13:00~14:00	昼食休憩
14:00~15:00	記 念 講 演	14:00~16:00	パネル討論 II
15:10~16:50	一般研究・課題研究		
17:00~19:00	懇 親 会		

### (1) 記念講演

テーマ 「IT社会における日本の学校変革」

本間政雄氏(京都大学事務局長)

## (2) パネル 討 論 I

テーマ 「学校における情報教育カリキュラムの課題－生涯学習を見通して－」

### [情報教育のとらえ方]

1999年7月に関係各省の局長・課長による総理直属のプロジェクトチームから、バーチャルエージェンシー「教育の情報化プロジェクト」報告が総理に提出されました。この報告の内容は2005年を目標に全国すべての学校のすべての教室において、すべての教員がすべての授業でコンピュータ・インターネットを活用することをめざしています。

これによって、学習者は教員から与えられた情報を受動的に吸収するだけでなく、自ら必要とする情報について考え、ネットワークを通じて得られた情報から目的に合ったものを取捨選択したり、再編成したりすることを日常的に行うようになります。学習者はこのような学習を通じてさまざまな情報を積極的に収集・整理・活用するとともに、自ら主体的に学び考え、その結果を論理的に組み立てて表現・主張する能力を身につけることをねらっています。すなわち、コンピュータ・インターネットを活用することによって、学習者のコミュニケーション能力を飛躍的に高めることが情報教育の大きなねらいです。

### [パネル討論Iの趣旨]

以上のように情報教育をとらえ、その内容の重点項目を、プレゼンテーション、インターネットの活用、校内LANの活用、コンピュータの活用、ホームページの制作とし、それぞれの項目について教科学習で効果的に実践している事例に基づいて、情報教育の課題について討論します。

[コーディネータ] 堀田龍也(静岡大学)

- [パネリスト]
- ・プレゼンテーションの視点: 堀口秀嗣(国立教育政策研究所)
  - ・コンピュータ活用・校内LANの視点: 井口磯夫(十文字学園女子大学)
  - ・インターネットの視点: 佐々木真理(京都教育大学)
  - ・ホームページの視点: 加藤直樹(岐阜大学)

## (3) パネル 討 論 II

テーマ 「情報における評価の観点と評価の方法」

後述の課題研究4の発表者の中から4～5名をパネリストとしてパネル討論を行います。他の公募者は課題研究として発表します。

[コーディネータ] 中村裕二(横浜国立大学)

## (4) 課 題 研 究 テ ー マ

課題1. 「情報教育における学力の考え方・とらえ方」

新教育課程下の学校教育では、「生きる力」を育てる教育をめざした新しい学力の形成が期待されています。この新学力観を情報教育の観点からどのようにとらえたらいいのか、また、情報教育がめざす学力とは何かなどの課題を認知科学の視点や構成主義の学習理論の観点から検討したい。

課題2. 「学力低下問題への情報教育への対応の仕方」

教育内容の厳選により新教育課程下の学校教育では、学力低下を招くおそれがあるといわれ、基礎基本の確実な習得が求められています。わが国の教育は国際的な学力調査の結果から、学力低下の傾向がみられるのか。また、諸外国では情報教育に対応した学習活動によってどのような学力の育成を重視しているのかなど、国立教育政策研究所等が関係してきた学力調査等を参考に諸外国の学力問題の考え方と情報教育の対応とともに、今後のわが国の検討課題について検討したい。

課題3. 「学力形成における情報教育の役割」

新教育課程における学習指導要領のもとでは、基礎基本の確実な習得による学力形成を求めています。教科学習におけるマルチメディア活用などの情報教育は「生きる力」を育てる教育に向けてどのような役割を学力形成における学習指導の工夫が期待されるか、小・中・高校の対応課題につ

いて検討したい。特に、小学校の情報教育の役割、中学校「技術家庭」の情報教育の役割、高校の教科「情報」の役割を重点に置きたい。

#### 課題4.「情報教育における評価の観点と評価の方法」

新教育課程下の教育活動については「評価の観点」を設け、絶対評価による評価が行われます。そのため、小・中学校の教科や総合的な学習の時間における「情報活用の実践力」を育てる学習活動での望ましい「評価の観点」は何か求められます。また、その「評価の観点」に対応した「評価の方法」としてどのような評価法が望ましいかについて、具体的な評価の観点と評価の方法について検討したい。特に、情報教育に重点を置いた統合的な学習の時間、中学校の「技術家庭」、高校の教科「情報」における評価の観点と評価方法を重点に置きたい。

#### (5) 課題研究発表申込み

- ・課題研究は前記「課題研究テーマ」から選び、そのテーマに合った研究発表題目をつけてください。
- ・課題研究発表の申込 2001年7月6日(金)締切  
「課題研究発表申込書」(同封の申込用紙左側)に必要事項(後述「発表申込書の書き方」参照)を記入の上、年会実行委員会事務局へ郵送してください。
- ・課題研究発表はプログラム委員会で調整し、各テーマごとに担当コーディネータが検討し、審査します。その結果、発表否となる場合もあることをあらかじめ、ご了承ください。なお、課題研究として発表できない場合には、一般研究を別に申し込んでいても課題研究分を一般研究発表として発表していただくことができる場合があります。
- ・第1発表者として課題研究発表は、1人につき1件のみとします。ただし、プログラム委員会から特に依頼された課題研究発表についてはこの限りではありません。

#### (6) 自主パネル討論・自主課題研究

##### ①自主パネル討論

会員の自主的な運営によるパネル討論です。年会実行委員会が本学会にふさわしいテーマであり、運営上可能であると判断した場合に開催が許可されます。

希望のある場合には、テーマ、趣旨、コーディネータ、パネリスト、連絡先を明記して7月6日(金)までに年会事務局に申し込んでください。(用紙は自由)

##### ②自主課題研究

会員が重要と思われる研究発表テーマについて何件かを関連されて1つの課題研究として発表する場です。自主パネル討論とする程、大きなテーマでないものについてこの場が使えます。

自主パネル討論と同様、年会実行委員会が本学会にふさわしいテーマであり、運営上可能であると判断した場合に、課題研究としてプログラムに組み込みます。

希望のある場合には、「課題研究発表申込書」の「課題研究テーマ番号」の欄に「自主」と書いて7月6日(金)までに年会事務局に申し込んでください。

#### (7) 一般研究発表

##### ①申込み 2001年7月20日(金)締切

- ・「一般研究発表申込書」を年会実行委員会事務局へ郵送してください。
- ・第1発表者としての一般研究発表は、1人につき1件のみとします。
- ・一般研究発表の発表者は、発表の時点で会員である必要があります。非会員の方は、事前に学会入会の手続きをしてください。学会入会申込書は年会事務局にご請求ください。

##### ②発表の主題

- ・「教育情報に関する研究」であれば、特に内容は問いません。「教育情報」は、大きくみて「教育に関する情報」と「情報に関する教育」が含まれています。
- ・これまでの発表のセッションは次の通りです。

教育情報一般，教育システム，コンテンツ，遠隔教育，情報教育，マルチメディア，インターネット，ネットワーク，データベース，教育用ソフトウェア一般，学習ソフトウェア開発，情報システム開発，情報処理教育，シミュレーション学習，情報検索，学習評価，授業分析，生涯学習，共同学習の交流学习，ホームページ

#### (8) 発表者への連絡

- ①発表者には，8月3日頃発表の可否を連絡します。
- ②発表を可とされた申込者に対しては，論文の執筆要項をお送りします。
- ③論文の原稿枚数は2枚または4枚とします。原稿は「年会論文集」の版下の形で，ワープロ出力したものを提出していただきます。

#### (9) 発表申込書の書き方

- ①講演者とは，研究発表会場で口頭発表する会員です。
- ②共同研究者は何人でもかまいません。
- ③概要はなるべく詳細に書いてください。
- ④キーワードとして，前記発表セッション名の中から数語を含めて10語以内を選んでください。
- ⑤会場で使用できる機器は，書画カメラまたはOHPとVTRです。パソコンは会場で用意できませんので，使用する場合には持参する機器の欄に記入してください。
- ⑥執筆要項などの希望する送付先は，発表者への連絡時期である8月上旬を想定して，自宅または勤務先に○をしてください。

#### (10) 参加費

- ・会員事前申込締切日まで  
参加費 3,000円 資料代 3,000円 懇親会費 5,000円
- ・会員(当日)または非会員  
参加費 4,000円 資料代 3,000円 懇親会費 5,000円

※今回のご案内は発表申込みです。参加申込みは，後日(7月予定)送付する「参加申込書」を郵送し，あわせて参加費を締切日までにお振込みください。

(11) 宿泊について 宿泊は各自でご手配願います。

#### (12) これからのスケジュール

- ①課題研究申込締切 2001年7月6日(金)
- ②一般研究申込締切 2001年7月20日(金)
- ③発表決定通知 2001年8月3日(金)
- ④論文提出締切 2001年9月21日(金)
- ⑤参加申込締切 2001年10月12日(金)
- ⑥参加費支払締切 2001年10月26日(金)

発表申込書送付先・問い合わせ先

送付先：〒158-8630 東京都世田谷区等々力6-39-15 (学)産業能率大学内  
日本教育情報学会 第17回年会実行委員会事務局 宛  
Tel:03-3704-9168 Fax:03-3704-9246  
メールによる問合せ：荒井元明 (ARAI\_Motoaki@hj.sanno.ac.jp)